

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 7 月 5 日(2022.7.5)

【公開番号】特開 2022-31410(P2022-31410A)

【公開日】令和 4 年 2 月 18 日(2022.2.18)

【年通号数】公開公報(特許)2022-030

【出願番号】特願 2021-209583(P2021-209583)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 27 日(2022.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御する主制御手段と、前記主制御手段からの信号に基づいて、遊技の演出を制御する従制御手段と、を備えた遊技機において、

前記主制御手段は、

始動条件の成立に基づく保留記憶を記憶可能であると共に、前記保留記憶に基づいて遊技者に有利な特別遊技を行うか否かの判定を実行可能であり、

前記従制御手段は、

前記保留記憶を表示手段に表示するように制御可能であると共に、前記表示手段で演出図柄の変動演出を実行可能であり、

30

前記特別遊技への期待度が高いことを示唆する第 1 事前報知と、前記第 1 事前報知と異なる態様で前記特別遊技への期待度が高いことを示唆する第 2 事前報知と、を実行可能であり、

前記第 2 事前報知は、

前記主制御手段において前記保留記憶が増減するにも関わらず、前記表示手段に表示される前記保留記憶が増減しない所定状態が生じたとき、前記第 1 事前報知を継続して実行可能であり、前記第 2 事前報知を継続して実行しないことが可能であり、

前記所定状態が解消されたとき、前記第 1 事前報知を継続して実行しないことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するため、本発明によれば、遊技の進行を制御する主制御手段(主制御部 110m)と、前記主制御手段(主制御部 110m)からの信号(コマンド)に基づいて、遊技の演出を制御する従制御手段(演出制御部 130m)と、を備えた遊技機において、前記主制御手段(主制御部 110m)は、始動条件(始動口 45, 47 への遊技球の入賞)の成立に基づく保留記憶を記憶可能であると共に、前記保留記憶に基づいて遊技者に

50

有利な特別遊技（大当たり）を行うか否かの判定を実行可能であり、前記従制御手段（演出制御部 130 m）は、前記保留記憶を表示手段（第 1 画像表示装置 70, 第 2 画像表示装置 71）に表示するように制御可能であると共に、前記表示手段（第 1 画像表示装置 70, 第 2 画像表示装置 71）で演出図柄（70 a）の変動演出を実行可能であり、前記特別遊技への期待度が高いことを示唆する第 1 事前報知（例えば保留アイコン変化）と、前記第 1 事前報知と異なる態様で前記特別遊技への期待度が高いことを示唆する第 2 事前報知（例えば可動部材の作動）と、を実行可能であり、前記第 2 事前報知は、前記主制御手段（主制御部 110 m）において前記保留記憶が増減するにも関わらず、前記表示手段（第 1 画像表示装置 70, 第 2 画像表示装置 71）に表示される前記保留記憶が増減しない所定状態が生じたとき、前記第 1 事前報知を継続して実行可能であり、前記第 2 事前報知を継続して実行しないことが可能であり、前記所定状態が解消されたとき、前記第 1 事前報知を継続して実行しないことを特徴とする。

10

20

30

40

50